

新産業廃棄物最終処分場の整備状況について

1 新産業廃棄物最終処分場について

- ・ 本体工事について、5月から造成工事に着手
- ・ 上下水道整備工事について、8月に入札公告を実施、業者決定後工事に着手
- ・ 管理棟等建築工事について、今後、設計・積算を実施予定

2 新産業廃棄物最終処分場新設道路について

- ・ 山側道路（日立市大久保町地内）と県道日立常陸太田線（日立市諏訪町地内）を結ぶ新設道路整備について、5月に工事用進入路工事に着手
- ・ 7月に第2トンネル本体工事の落札者を決定

落札者	安藤ハザマ・菅原・中井特定建設工事共同企業体	
落札額	5,371,905千円	
工事概要	工事箇所	日立市大久保町地内
	工事内容	トンネル工事（L=1,566m）
	幅員	7m（車道3m×2、路肩0.5m×2）

- ・ 今後、その他区間の工事も順次発注し、工事に着手予定

参考1：新処分場造成工事の状況



整備地（日立市諏訪町地内）：令和6年8月9日撮影

参考2：新設道路工事用進入路工事の状況



山側道路側現地（日立市大久保町地内）：令和6年8月21日撮影

新産業廃棄物最終処分場新設道路概要

【位置図】



【概要】

- ① 道路種類 県道(日立常陸太田線)
- ② 事業区間 日立市大久保町～同市諏訪町
- ③ 延長 約4km
- ④ 幅員 9m(車道3m×2、歩道2m、路肩0.5m×2)
- ⑤ 主な施設 橋りょう 2橋(第1号・第2号)
トンネル 2箇所(第1・第2)

※ 橋りょう2橋及び第1トンネル工事は年度内発注予定

新産業廃棄物最終処分場の工事の進捗状況等について

1 工事の進捗状況について

- ・ 本体工事は、現在、主に埋立地敷地造成のための盛土工及び防災調整池設置のための掘削を実施中
- ・ 当初計画のとおり順調に進んでおり、年末から浸出水調整槽の躯体工事を開始予定
- ・ 10月に有識者等で構成する施工管理ワーキンググループを開催し、安全な処分場建設のため、施工方法等について審議を行う予定

<処分場建設工事の全体計画>

令和8年度末
供用開始予定

●● 計画 ●● 実績

工事		年度	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027年 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
準備工	現場事務所の設置、 堆積場の伐採		●●					
盛土工	堆積場のズリを利用し た埋立地の敷地造成		●●	●●	●●	●●		
遮水工	廃棄物に触れた水の地下 浸透を防ぐシート等 の施工			●●	●●	●●	●●	●●
道路工	管理棟周辺や管理用道 路の舗装				●●			
法面工	処分場周辺の法面保護 のためのモルタル施工		●●	●●	●●	●●	●●	●●
防災調整池工	防災調整池の掘削、 放流塔の設置		●●	●●	●●			
擁壁工	県道境界や調整槽周辺 等の擁壁設置			●●	●●		●●	●●
浸出水 処理施設	廃棄物に触れた水を処 理するための施設や調 整槽の設置			●●	●●	●●	●●	●●
管理棟・ 展開検査場	職員が勤務する管理棟 や受入検査を行う検査 場の設置			●●	●●			
環境学習施設					●●			

令和6年9月現在

2 広報の実施状況について

- ・ 処分場工事にご理解をいただくため、チラシを作成して5月27日に日立市全域を対象に新聞折込を行うとともに、事業団ホームページにも掲載
- ・ 工事の進捗状況をお知らせするため、月1回を目安に広報紙を作成し、以前より説明している地元4学区へ配布するとともに、事業団ホームページにも掲載

現地説明資料



新最終処分場完成予定図 (県作成)

埋立地エリア

盛土工

新設道路
(県工事)

濁水処理施設

防災調整池
掘削

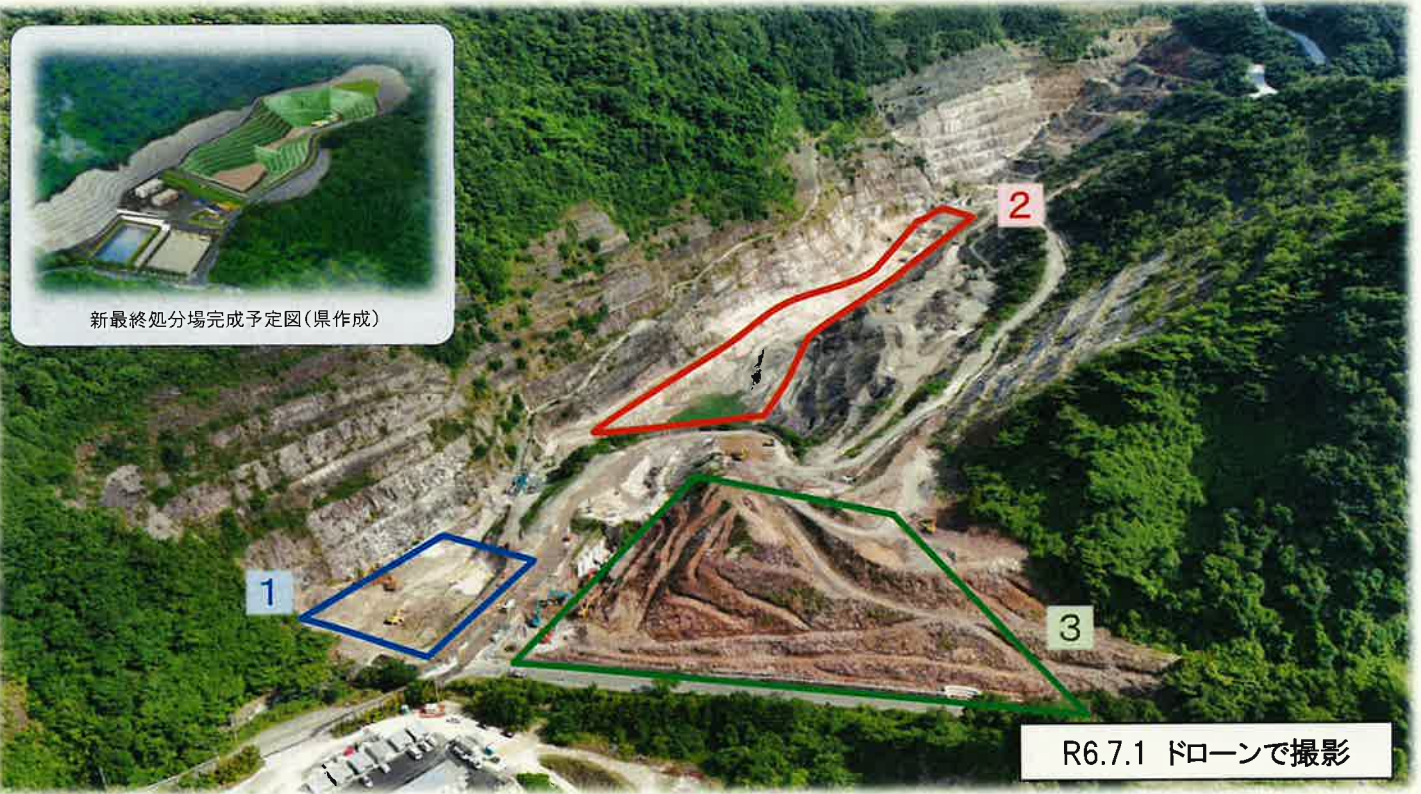
7号堆積場掘削

ドローン撮影写真 (8月27日)

見学ルート

現場事務所

茨城県環境保全事業団は、令和6年5月末から新処分場の建設工事に着手しました。令和8年度末の供用開始を目標に、地元の皆様の安全安心に配慮しながら工事を進めてまいります。今後は、このお知らせなどにより、工事の状況等をお伝えいたします。



R6.7.1 ドローンで撮影

1 防災調整池放流塔基盤の造成工事を実施しています



建設機械を使って基盤を整形しています。



放流塔部の掘削作業を実施しています。

2 埋立地底部の基盤整備工事を実施しています



埋立地内の湛水を汲み上げています。



転石を除去し、盛土基盤を整備しています。

3 浸出水処理施設の基盤整備工事を実施しています



建設機械を使って土砂を撤去しています。



散水しながら、構造物の破碎作業をしています。

【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団のホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



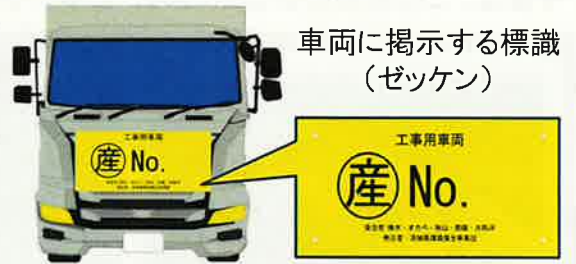
現場だより

工事用車両は安全第一に運行します

運転手に対して交通安全や交通マナーを徹底するよう指導を行い、安全な運行をしております。

<主な指導事項>

1. 決められた運行ルート以外は通行しないこと
2. 周辺道路(梅林通り)における運行時間帯は、8時30分から夏季であっても20時までとすること
3. 急発進、急ブレーキなどをしないこと
4. 児童下校時の飛び出しに注意すること
5. 信号のない横断歩道に歩行者がいる場合は、必ず一時停止をすること
6. 工事用車両は標識(ゼッケン)を必ず掲示すること
7. 道路交通法を遵守して運行をすること



車両に掲示する標識(ゼッケン)

～ちょっと一言～
茨城県が行う新設道路工事で使用する工事用車両の標識(ゼッケン)の色は青色です。



荒天時は作業を中止します

	雨量	風速	地震	降雪
作業中止基準	10.0mm/h以上	10.0m/s以上	震度4以上	積雪3.0cm以上
作業再開基準	5.0mm/h以下	8.0m/s以下	余震の恐れがない場合	降雪予想の解除

※このほか、事故発生時や現場代理人が危険と判断した場合なども作業を中止します。



敷地内は立入禁止です

工事敷地内は、大変危険です。
工事関係者以外の方は、絶対に許可なく立ち入らないようにお願いします。



処分場工事中の環境モニタリング

事業団では、地域住民の皆様安心していただくため、大気質、騒音、振動、水質などの環境モニタリングを実施し、処分場工事の影響がほとんどないことを確認しています。
環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。

工事中の環境モニタリングの結果

● 大気質(5月測定)

大気汚染物質(窒素酸化物等)を測定したところ、工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準未満でした。

● 騒音・振動(5月測定)

騒音・振動レベルを測定したところ、工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準未満でした。

● 動植物(5月確認)

処分場工事開始前に移植措置を実施した、トンボ類及び植物を確認したところ、順調に生育していることが確認されました。



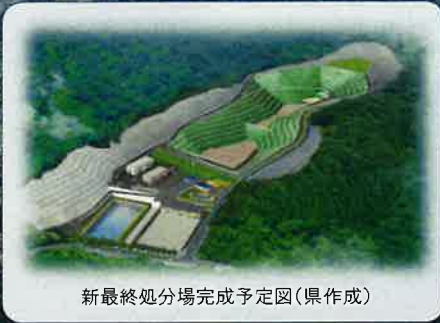
処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点

環境基準って何?

環境基本法という法律で、「人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準」として定められたものです。



厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は、埋立地の基盤部分の工事の進捗状況や、工事現場で実施している熱中症対策などについて、お知らせいたします。



新最終処分場完成予定図(県作成)



R6.8.2 ドローンで撮影

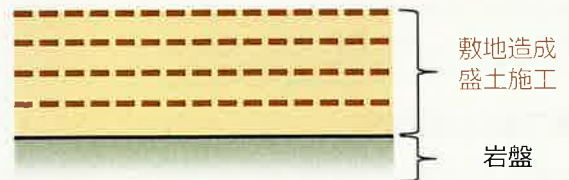
1 防災調整池放流塔基盤の造成工事を実施しています



2 埋立地底部の基盤整備工事を実施しています



基盤となる岩盤を出しています



【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認ください。

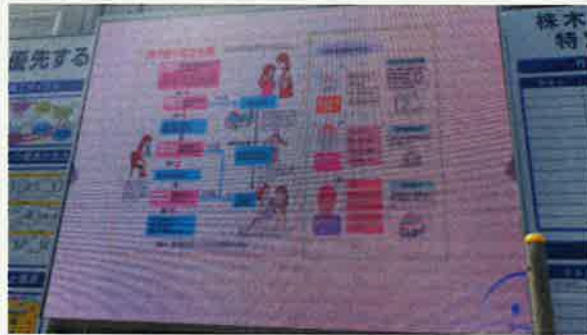


現場だより

8月に入り暑い日が続いておりますが、安全第一で現場を運営していくために、処分場の工事で実施している熱中症対策についてご紹介いたします。

熱中症の注意喚起

現場に設置している大型のデジタルサイネージの掲示板などで、暑さ指数(WBGT)を活用した熱中症の注意喚起や、応急処置の方法を周知しています。



暑さ指数(WBGT)ってなに？

暑さ指数とは、熱中症を予防することを目的にアメリカで提案された指標で、人の熱バランスに影響の大きい①気温、②湿度、③輻射熱(ふくしゃねつ)を組み合わせた指標です。



現場で実施している熱中症対策

熱中症の注意喚起に加えて、現場や休憩所で実施している熱中症対策をご紹介します。



現場での日陰用のテント



熱中症対策用のドリンク



ドリンクや氷の用の製氷機

処分場工事中の環境モニタリング

事業団では、地域住民の皆様々に安心していただくため、大気質、騒音、振動、水質などの環境モニタリングを実施し、処分場工事の影響がほとんどないことを確認しています。環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



新処分場工事中の環境モニタリング結果

工事中の環境モニタリングの結果

● 水質(6月測定)

工事現場からの雨水排水及び鮎川の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で環境基準未満でした。

● 地下水(6月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。

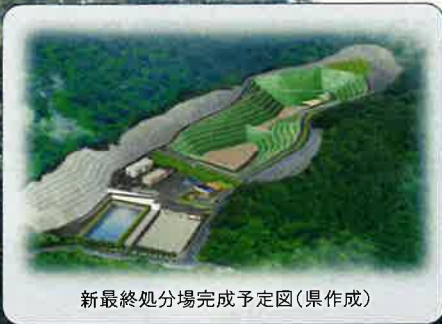
● 動植物(6月確認)

処分場工事開始前に移植措置を実施した、トンボ類及び植物を確認したところ、順調に成長していることが確認されました。



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点

猛暑の夏もようやく落ち着き、秋の気配が感じられるようになってまいりました。処分場の工事現場でもトンボなどの秋の昆虫が見られるようになりました。今号では現在行っている敷地造成の状況についてお知らせいたします。



新最終処分場完成予定図(県作成)



R6.8.27 ドローンで撮影

埋立地の敷地造成工事を実施しています

現在、廃棄物を埋め立てる予定の敷地部分の造成工事を進めています。“ズリ”と呼ばれる盛土材料を締め、何層にも重ねることで、敷地部分が埋め立てる廃棄物の重さに耐えられるように造成しています。具体的には、ブルドーザーで盛土材料を均一な厚さに敷均し、次に振動ローラーによる締めを行っています。詳しい工事の方法については、裏面に掲載しています。



ブルドーザーでの盛土材料の敷均し



振動ローラーでの締め

【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp

その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の

ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)

又は二次元コードからご確認いただけます。



現場だより

現在、処分場の埋立地の基盤となる、敷地造成のための盛土工を進めています。今回は、盛土工の工事の手順や、使用している重機等について、ご紹介いたします。

盛土工ってなに？

新たに土を盛って、盛った土を締め固めることで、土地等を造成する工事のことを盛土工といいます。処分場の工事では、岩盤の上に、30cmずつ盛土を行い、埋立地の形状を作ります。



盛土工に使用している重機

ア-ティキュレートダンプ



240万m³という大規模な盛土を実施するため、通常より運搬能力の高いア-ティキュレートダンプを使用します。

振動ローラー



盛った土に振動を与え、土を締め固めます。締固めに必要となる通過回数は、人工衛星により管理しています。

自走式破砕機

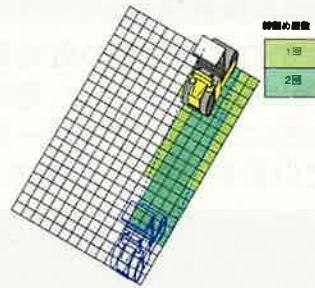


場内の巨石は、本来撤去が必要ですが、自走式破砕機で細かく破砕することで、盛土の材料として活用できます。

盛土工の品質管理

工事では、振動ローラーが間違いなく、締固めに必要な回数を通じたか確認するため、人工衛星による測位を利用した「TS-GNSS」と呼ばれる技術を利用して、振動ローラーの通過回数を管理しています。

また、盛土材料に比較的大きな粒径の石が含まれるため、「小型FWD」という測定機器を利用して、地盤の剛性を測定し、品質確認を行っています。



<TS-GNSSによる回数管理>



<小型FWDによる品質管理>

処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

● 水質(7月測定)

工事現場からの雨水排水を測定したところ、工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準未満でした。

● 地下水(7月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点